

2 環境施策進捗状況調査結果

基本目標 1 自然を身近に感じられる“まちづくり”

個別目標 樹林地や農地を守り、育てる
樹林地・草地などの保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
樹林地の保全に市民などが参加できるしくみづくりを進めます。	農政課	事業実施なし。	—
樹林地の減少につながる開発等の抑制を呼びかけます。	農政課	伐採等の面積の抑制や、植林の指導を行った。また、広報による周知を1回実施した。	適切な指導を行ってきたが、伐採等の面積が増えている。
緑地保全地区の指定による樹林地の保全を検討します。	都市整備課	平成24年度は、当初より事業計画なし。	現状では、市街地周辺の樹林地が多く残っており、ここが開発により失われる情勢ではないため、保全の検討には至っていない。
里山の保全・活用のしくみづくりを検討します。	環境保全課	具体的な里山保全の仕組みづくりはできなかった。 自然探検隊 4回実施 参加者 57名。	具体的な里山保全の仕組みづくりはできなかったが、啓発事業としての自然探検隊は例年通り実施できた。

農地の保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
農地の保全を図るため、必要な制度や体制づくりを進めます。	農政課	地域住民による農地、農業施設、景観形成等の保全活動の支援を行った。	農地・水・環境保全向上対策の活動組織への支援を行うことにより、農地や農業施設の保全及び環境保全を図った。
地場農産物の品質向上など、地域の農業振興を支援します。	農政課	市内農産物のブランド化を、印西市農産物ブランド化推進補助金による推進を図った。	印西市農産物ブランド化推進補助金により市内農産物のブランド化を推進した。
農業後継者の育成、新規就農者に対する支援を進めます。	農政課	農業従事希望者に基礎的な農業知識を習得させるために農業研修を行い、農業版ハローワーク求職登録者の推進を図った。 農業研修:1回実施 研修受講者:11名	農業版ハローワーク求職登録者の推進を図ることにより、農家の労働力不足の解消や労働力の確保が図られた。
農産物の地産地消を推進し、産地直売による販路の拡大を図ります。	農政課	印西市地産地消推進計画に基づき、地産地消の推進を図った。	印西市地産地消推進計画に基づき、地産地消を推進した。
農用地区域の指定を継続します。	農政課	農業振興地域整備計画の管理を行い、農地の有効利用及び保全を推進した。	農業振興地域整備計画の管理を行うことにより、農地の有効利用及び保全をはかった。
生産緑地地区の指定を継続します。	都市整備課	生産緑地指定面積約 2.58ha。	生産緑地地区の指定を継続した。
市内の遊休農地対策を進めます。	農政課	遊休農地再生対策協議会が耕作放棄地再生利用緊急対策実施要綱に基づく耕作放棄地再生利用事業を実施し、92aの耕作放棄地を解消した。	遊休農地再生対策協議会が耕作放棄地を再生し、解消を図った。

樹林地や農地とのふれあいの場の創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
市民が森の中で遊び、森林浴や休養することのできる、「市民の森」の充実を図ります。	農政課	草刈約 1,000 m ² を実施	草刈を行い、適正な森の管理に努めた。
地域森林計画対象民有林などによる、市民などに樹林の大切さを啓発するための事業を進めます。	農政課	事業実施なし。	—
消費者の農業理解を図るため、農業イベントや交流会などを開催・支援します。	農政課	産業まつりを牧の原駅圏(BIG HOP 駐車場内)開催した。 来場者数: 30,000 人	産業まつりを実施し、生産者と消費者の交流を行い、安全・安心な顔の見える農業を推進した。
土や自然に親しみ、市民と農業のふれあいの場となっている「ふるさと農園」の充実を図ります。	農政課	ふるさと農園を 234 人の方が利用した。	農業にふれあうことにより農業を身近に感じていただき、環境保全に対する意識の高揚を図った。

個別目標 さまざまな生き物を守る
生き物の生育・生息環境の保全・創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
公共施設などの整備に関する計画策定やほ場整備事業実施にあたっては、多自然型工法の採用など、自然環境への配慮を充分行います。	関係各課	事業実施なし。	—
県や関係市町村と協力し、手賀沼、印旛沼流域の水生植物の再生事業を進めます。	環境保全課	手賀沼水環境保全協議会において、水生植物保全活用事業を実施。	手賀沼水環境保全協議会の水生植物再生活用検討委員会でガシヤモク等の保存活用、イベントにおける啓発事業を実施できた。
希少な野生生物の生育・生息環境の調査を実施し、保護方法を検討します。	環境保全課	「生きものしらべ子どもレポーター」を実施。 各小学校児童全員に夏休み前に配布。 報告 2 通。	モニタリング調査に代わるものとして「生きものしらべ子どもレポーター」を実施したが、報告数が少なく、今後の検討課題となった。 市の実施する環境調査は 3～5 年間隔で実施する。
生き物の密猟や本来の生態系を侵食する外来種の移入などに対し、監視を行うとともに、市民等への普及啓発を図ります。	環境保全課	外来生物に関する情報を広報等で掲載し普及啓発を実施。 カミツキガメ 3頭 イノシシ 155 頭 アライグマ 11 頭 ハクビシン 183 頭	市民からの通報によるカミツキガメの捕獲。有害鳥獣駆除としてイノシシ、アライグマの捕獲ができた。

調査・観察会などの継続実施

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
野生動植物の生育、生息環境の保全に関する意識啓発を図ります。	環境保全課	自然探検隊を4回実施。 参加者延べ57人。	自然探検隊を通して、市民の環境保全に対する意識の高揚が図れた。
市民参加による生き物のモニタリング調査を継続します。	環境保全課	「生きものしらべ子どもレポーター」を実施。 各小学校児童全員に夏休み前に配布。	モニタリング調査に代わるものとして「生きものしらべ子どもレポーター」を実施したが、報告数が少なく、今後の検討課題となった。 市の実施する環境調査は3～5年間隔で実施する。
自然探検隊等の観察会を通じて、さまざまな動植物が生育・生息する環境の保全意識の高揚を図ります。	環境保全課	自然探検隊を4回実施。 参加者延べ57人。	自然探検隊を通して、市民の環境保全に対する意識の高揚が図れた。

個別目標 親しみのある水辺をつくる 水辺環境の保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
自然環境や周辺の景観と調和した水辺空間の形成を関係機関へ要請します。	土木管理課 都市整備課	調整池等の整備は実施していないが、企画提案型協働事業として竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業を実施した。	企画提案型協働事業を通じ、NPOに対し水辺環境の維持・管理にかかる委託支援を行った。
市民などによる水辺環境の維持・管理を支援します。			
市内に存在する湧水の数と位置を把握した上で、水量や水質について現地調査を実施します。	環境保全課	手賀沼水環境保全協議会において手賀沼流域の湧水調査を市民とともに実施。	継続して湧水調査が実施できた。
多自然型工法を用いた河川、農業用水路の整備を要請します。	環境保全課	事業実施なし。	—

水辺とのふれあいの場の創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
調整池などの整備を進め、野鳥、植物、昆虫等の自然観察のできる場所の設置を検討します。	都市整備課	調整池等の整備は実施していないが、企画提案型協働事業として竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業を実施した。	いつもきれいで気持ちよく利用できる水辺の憩いの場を市民に提供できた。
水辺に近づけない調整池では、外周部から野鳥や植生を見て楽しむことができるような観察会を開催します。	環境保全課	自然探検隊を4回実施。 参加者延べ57人。	自然探検隊を通して、市民の環境保全に対する意識の高揚が図れた。

個別目標 まちの緑を増やす
 公用地内の緑化

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
市民の日常生活に密着した、身近な公園及び運動などのための総合公園を計画的に整備します。	都市整備課	野球場部分の下水道整備を行った。	既存の自然環境を生かしながら、運動施設をも備えた総合公園を整備することが出来た。
公園や公共施設の整備に際し、「環境木」の情報を提供するとともに、植栽を依頼します。	環境保全課	事業実施なし。	—
市民参加による公園や緑地の管理を支援します。	都市整備課	市民参加により公園等の散乱ゴミ等が減少するとともに環境美化が保たれた。 (美化活動協定締結数 19 団体)	市民参加により公園等の散乱ゴミ等が減少するとともに環境美化が保たれた。

民有地内の緑化

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
住宅地の緑の創出を図るため、緑化を要請します。	都市整備課	印西市開発行為等指導要綱に基づき、戸建住宅へ開発する際、各区画に生垣等の植栽を積極的に行うよう要請した。	適切に実施。
事業所、商業施設の敷地、駐車場の緑化を要請します。	都市整備課	開発行為の指導により開発面積の5%以上の緑地の確保を要請した。	適切に実施。

緑化推進のための人づくりと情報発信

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
広報紙、パンフレット、インターネットなどにより、花や緑に関する情報提供やイベントの普及を図ります。	都市整備課	広報等により県立北総花の丘公園の情報を提供し、緑化の推進を図った。	広報等により県立北総花の丘公園の情報を提供し、緑化の推進が図れた。

個別目標 歴史や文化を大切にする

歴史文化財の保存

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
「木下貝層」、「宝珠院観音堂」など文化財指定地の保護・保存を図ります。	生涯学習課	管理者・地域住民の協力を得て史跡の清掃・管理を実施した。	当初の目標を達成することができた。
文化財の調査研究を推進します。	生涯学習課	仏像調査は17体の調査を行い、石造物の分布調査、悉皆調査を実施した。萩原、鎌苅地区などを中心に埋蔵文化財包蔵地の分布調査も実施した。	当初の目標を達成することができた。
		印旛沼・印旛沼の漁について聞き取り調査を実施した。	印旛沼の環境の変遷を知ることができた。

巨樹・巨木林などの保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
巨樹・巨木林の位置を把握したうえで、生育状況について実態調査を実施します。	環境保全課	事業実施なし。	—

歴史的文化的環境とのふれあい創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
ガイドマップなどにより、歴史や文化についての普及啓発を図ります。	生涯学習課	各種協力団体の事業に対する支援や後援を実施し、ガイドマップ作成の検討を行った。	平成25年度刊行に向けたデータの取りまとめを実施することができた。

基本目標 2 安心して生活できる“暮らしづくり”

個別目標 空気をきれいにする
大気汚染対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
公用車等に低公害車を導入します。	管財課	リース車両1台を返却、10台処分。10台購入。	公用車管理事業については、返却1台、処分10台、購入10台で1台の削減となり、また低公害車を購入したことにより大気汚染の軽減に努めることができた。
低公害車や公共交通機関の利用促進に向けた呼びかけを行います。	環境保全課	庁内エコプラン(市)、環境行動指針(市民等)等により、エコドライブの推進を図った。 平成24年11月1日～平成25年1月31日までの期間、「アイドリングストップ等による大気汚染物質削減計画」を実施し、HP等に掲載することにより市民への普及啓発を図った。	庁内エコプラン(市)、環境行動指針(市民等)等により、エコドライブの推進が図られた。
アイドリングストップなど、環境にやさしい運転の普及啓発を図ります。			
工場・事業場などからの排出ガス抑制、焼却炉の適正使用に関する普及啓発と指導を行います。	環境保全課 クリーン推進課	年2回広報により、基準外焼却炉を使用している焼却行為の禁止を周知した。	基準外焼却炉を使用している焼却の確認はされていないため、大気汚染の防止が図られている。
焼却炉の適正使用を含め、野焼き防止の普及啓発と指導を行います。			
公園や公共施設の整備に際し、「環境木」の情報を提供するとともに、植栽を依頼します。(再掲)	環境保全課	事業実施なし。	—

悪臭防止対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
悪臭を放つおそれのある施設及び物質について、管理者への指導を行うとともに、必要に応じて現地調査を実施します。	環境保全課	悪臭を発生させた管理者に対し、対処するよう指導を行った。	特定施設や特定作業以外での悪臭があったが、指導により改善が図られた。

監視・測定の実施

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
県や周辺市町村と連携して大気汚染対策を進めるとともに、大気調査を実施します。	環境保全課	大気ダイオキシン類環境調査を実施、測定結果を県に報告した。 夏冬2回2地点	継続して大気ダイオキシン類環境調査を実施しているため、大気の状態が把握できている。
情報を共有するなど、周辺市町村と連携して、悪臭防止対策を進めます。	環境保全課	関係課と協力し、定期的に畜産業の立入り等を実施した。	把握している事業所のほか新たな問題等は発生していない。

個別目標 水や土をきれいにする
排水対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
生活排水の環境負荷軽減に関する普及啓発を図るとともに、市民の活動を支援します。	環境保全課	手賀沼水環境保全協議会、印旛沼水質保全協議会で実施する各事業に協力した。 市民団体が主催する手賀沼流域フォーラムイベントに協力した。	手賀沼水環境保全協議会、印旛沼水質保全協議会で実施する各事業に協力できた。 市民団体が主催する手賀沼流域フォーラムイベントに協力できた。
工場・事業場などからの排水に対する指導を行います。	環境保全課	特に案件となる事案がなかったため、特定施設への立入等は実施しなかった。	—
公共下水道の整備を推進します。	下水道課	岩戸地区面整備工事 A=1.82ha	公共下水道処理区域が A=1.82haの増となった
合併処理浄化槽の設置を推進します。	環境保全課	合併処理浄化槽の設置補助の継続実施及び設置推進のための啓発活動を実施 合併処理浄化槽補助 138基 転換補助 63基	合併浄化槽の設置補助により、生活排水対策が進んだ。
公共下水道の接続率(水洗化率)の向上のためのPRIに努めます。	下水道課	啓発物資の配布 市内全小学校4年生への下水道に関する副読本の配布	啓発等を行ってはいるが、下水道への接続率が向上する結果にはつながらなかった。
廃食用油の回収を進めます。	クリーン推進課	廃食用油の拠点回収について、ホームページ、広報紙及び町内回等を対象とした「ごみ減量化等説明会」において啓発を行うとともに木刈フレンドリープラザを回収場所に加えた。	拠点回収場所を増設したことにより、排出者の負担軽減が図れたとともに啓発の効果として5,100kgの廃食用油を回収した。

土壌汚染・地下水対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
環境負荷の少ない環境保全型農業を推進します。	農政課	環境保全型農業直接支援対策事業補助金により推進を図った。	環境保全型農業直接支援対策事業補助金を交付した。
産業廃棄物の不法投棄や不法な残土の埋立てなどの防止のため、監視体制の強化・普及啓発を図ります。	クリーン推進課	職員パトロール回数 6回 委託パトロール回数 160回 不法投棄監視委員 月4回 固定式監視カメラ運用台数 15台 (うち4台は新規設置) 移動式監視カメラ運用台数 17台 広報掲載回数 4回 ホームページ掲載 随時 協働撤去 1現場 (市企画提案型協働事業) 警察通報 4件 印旛地域振興事務所通報 2件 行為者の特定 0件	各パトロール業務については、巡回と併せ、不法投棄多発地区におけるピンポイントの定点監視を効果的に実施した。地元町内会等と十分に検討し設置した固定式監視カメラのほか移動式監視カメラを設置したこと及び啓発業務を継続実施したことで、効果的な不法投棄の防止を図ることができた。既存現場の実態を把握したことから、当該現場の不法投棄物を計画的に撤去することができた。市企画提案型協働事業により実施した大規模な不法投棄現場の不法投棄物協働撤去については、広く市民の参加をいただき、不法投棄に関する意識向上に寄与した。
工場・事業場・建設作業における汚染防止のための指導を行います。	環境保全課	周囲に影響を及ぼすような汚染の発生はなかった。	周囲に影響を及ぼすような汚染の発生はなく、事業所等の適正管理が行われていると思われる。
雨水浸透施設の普及を進めます。	関係各課	開発行為申請者より事前協議があった際には、雨水浸透施設及び透水性舗装など環境に配慮するよう協力を要請した。	開発行為申請者より事前協議があった際には、雨水浸透施設及び透水性舗装など環境に配慮するよう協力を要請した。
地下水の適切な利用について、指導・普及啓発を行います。	環境保全課	揚水施設廃止任意立会い 2件	揚水施設の規制についても、必要最小限とし、他水源のある未規制口径の揚水機についても、任意で立会いを行ったことにより、地下水の適正利用が図られた。
町営塵芥焼却場跡地の環境調査を実施します。	環境保全課	継続してモニタリング調査を実施した。	モニタリング調査を通じて、周辺地区に有害物質が流出していないことが確認できた。
歩道改良工事の際には、透水性舗装等の環境に配慮した整備を推進します。	建設課	市道物木滝線の整備に伴い、歩道を透水性舗装により整備した。	目標通り、透水性舗装により整備することができた。

監視・測定の実施

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
河川水、地下水(地下水位を含む)、工場排水などの定期監視体制を充実します。	環境保全課	水質事故による通報 1件	水質事故時の連絡体制により対応し、汚染物質を除去することができた。
県や周辺市町村と連携して水質汚濁の防止対策を進めます。	環境保全課	手賀沼・印旛沼の水質改善のため、県・周辺市町村と連携して、普及啓発及び浄化対策事業を実施した。合併処理浄化槽の設置補助の継続実施及び設置推進のための啓発活動を実施した。	適切に対応した。
市民などが実施する水質調査を支援します。	環境保全課	市民団体が主催する手賀沼のイベントの際にバックテストを提供した。手賀沼水環境保全協議会で実施している河川・湧水の協働調査に市民に参加いただいた。	市民や団体などにより実施される水質調査により環境保全の意識啓発が図れた。

個別目標 騒音や振動などを低減する
自動車の騒音・振動対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
アイドリングストップなど、環境にやさしい運転の普及啓発を図ります。(再掲)	環境保全課	市内エコプラン(市)、環境行動指針(市民等)等により、エコドライブの推進を図った。 また、HP 等により市民への普及啓発を図った。	市内エコプラン(市)、環境行動指針(市民等)等により、エコドライブの推進を図られた。
道路の適正な維持・管理に努めます。	土木管理課	道路維持工事 3箇所 道路補修工事(市内全域)	道路の適正な維持・管理に努めた。
騒音・振動の実態調査を継続的に実施します。	環境保全課	県道千葉竜ヶ崎線において、自動車騒音の測定を行った。騒音については環境基準を超えていた。	路線を評価するとともに、現状を把握することができた。
県や関係機関に対して騒音・振動対策の充実・強化を働きかけます。	環境保全課	道路管理者に測定結果を送付した。	道路付近の居住者の騒音振動の状況を伝えることができた。

工場・事業場などからの騒音・振動対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
事業所・商業施設、建設作業における騒音・振動防止のための指導を行います。	環境保全課	特定施設、特定建設作業、特定作業の届出を受理した。	届出を審査することで適正化を図った。
生活騒音についての知識やモラルの普及啓発を図ります。	環境保全課	ポスターを環境保全課窓口に掲示した。	ポスター掲示により生活騒音の問題について周知を図った。

光害対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
住民や動植物等への影響を考慮し、ネオンサインなど屋外照明の適正化を指導します。	環境保全課	屋外照明の使用のおそれがある施設に対し、適正使用を呼びかけた。	適正使用を呼びかけたことにより、影響の防止を図れた。
道路照明などは周辺環境を踏まえた上で適切に設置します。	関係各課	関係機関及び団体と協議し、必要だとと思われる個所に照明を設置した。	関係機関及び団体と協議し、必要だとと思われる個所に照明を設置した。

個別目標 有害化学物質による汚染を防ぐ

有害化学物質の排出防止対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
焼却炉の適正使用を含め、野焼き防止の普及啓発と指導を行います。(再掲)	環境保全課 クリーン推進課	年2回広報により、基準外焼却炉を使用 しての焼却行為の禁止を周知した。	基準外焼却炉を使用しての焼却の確認 はされていないため、大気汚染の防止が 図られている。
広報やホームページ等で有害化学物質に関する情報を提供し、有害化学物質の適正処理・管理を周知します。	環境保全課	汚染の確認はなかった。	汚染の確認はなかったが、情報収集を図 った。
公共施設内の緑の維持管理には、除草剤・殺虫剤・殺菌剤を必要以上に使用しません。	関係各課	公共施設内の敷地において、害虫が発生 した場合は基本的に手作業での対応 とし、除草剤、殺虫剤の使用は最低限と した。	公共施設内の敷地において、害虫が発生 した場合は基本的に手作業での対応 とし、除草剤、殺虫剤の使用は最低限と した。
有害化学物質汚染が確認された場合、原因究明とその再発防止の指導を行います。	環境保全課	汚染の確認はなかった。	汚染の確認はなかったが、情報収集を含 め監視の強化を図りたい。
県や周辺市町村、印西クリーンセンターなどと連携して、ダイオキシン類等の有害化学物質対策を継続して進めます。	環境保全課	市内2箇所で大気ダイオキシン類の測定 を実施し、測定結果は、環境基準内であ った。	ダイオキシンの発生の抑制や焼却施設 の適正管理が図られている。

有害化学物質に関する情報の収集・提供

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
県や周辺市町村とも連携して、有害化学物質の情報収集に努め、市民・事業者に分かりやすく情報を提供します。	環境保全課	監視している中で、特に悪化の恐れがあ る有害物質はなかった。	特に悪化の恐れがある有害物質はなか ったが、情報収集を図った。
有害化学物質等に対する新たな取組みについて、市民・事業者 者に情報提供します。	環境保全課	新たな取組みなどはなかった。	取組みなどはなかったが、継続して情報 収集を図った。

個別目標 エネルギーを有効に利用する
省資源・省エネルギーの推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
公用車等に低公害車を導入します。(再掲)	管財課	リース車両1台を返却、10台処分。10台購入。	公用車管理事業については、返却1台、処分10台、購入10台で1台の削減となり、また低公害車を購入したことにより大気汚染の軽減に努めることができた。
低公害車や公共交通機関の利用促進に向けた呼びかけを行います。(再掲)	環境保全課	庁内エコプラン(市)、環境行動指針(市民等)等により、エコドライブの推進を図った。 また、HP等により市民への普及啓発を図った。	庁内エコプラン(市)、環境行動指針(市民等)等により、エコドライブの推進が図られた。
省資源・省エネルギーに関する取組みを市民などにわかりやすく情報提供するとともに、環境家計簿の記入を呼びかけます。	環境保全課	イベント等において環境行動指針の普及促進。 環境家計簿 74枚提出	イベント等において環境行動指針の普及促進できた。 環境家計簿 74枚提出
公共施設での省エネルギーを推進します。	環境保全課	庁内エコプランによる市庁舎等での省エネルギーを推進。 また、グリーンカーテンを86施設で実施し、約1000mのカーテンを設置した。	各課・各施設に環境推進主任を設置し、省エネ、節電に取り組むことができた。 また、市民への啓発の意味も含めてグリーンカーテンを設置できた。
公共施設の改修の際には、エネルギーを有効に利用できる設備の導入を検討します。	関係各課	公共施設の改修の際には、エネルギーを有効に利用できる設備の導入を検討した。	今後も引き続き、施設改修の際にはエネルギーを有効活用できる施設の導入を検討する。
「(仮称)地球温暖化対策地域推進計画」の策定を検討します。	環境保全課	県内近隣市町の動向を踏まえながら、引き続き策定を検討する。	今後も引き続き、県内近隣市町の動向を踏まえながら、策定を検討する。

新しいエネルギーの利用促進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
公共施設の改修の際には、太陽光発電等の自然エネルギー設備の導入を検討します。	関係各課	公共施設の改修の際には、太陽光発電等の自然エネルギー設備の導入を検討した。	今後も引き続き、公共施設の改修の際には、太陽光発電等の自然エネルギー設備の導入を検討する。
自然エネルギーの導入について、市民等に情報提供、普及啓発を図ります。	環境保全課	太陽光発電システム及び太陽熱利用温水器の設置補助について、ホームページ・広報等で市民に周知し、普及啓発を実施。	太陽光発電システム及び太陽熱利用温水器の設置補助については、目標以上の設置基数の補助ができている。
太陽光発電システム等設置補助金を交付します。		補助実施件数 太陽光発電システム 237基 太陽熱利用温水器 5基	

個別目標 ごみの量を減らし、資源の循環を進める
ごみの排出抑制(リデュース)

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
ごみの排出量、資源化状況、ごみの分け方・出し方などについての情報提供体制の拡充を図ります。	クリーン推進課	広報紙でのシリーズ化による12回の掲載やホームページでの常時掲載、町内会等を対象に25回の「ごみ減量化等説明会」の開催等により、ごみの減量・資源化の啓発を行った。	一人一日当たりのごみ排出量において、事業系ごみについては、東日本大震災の影響により対前年度約11g増の181gとなったが、家庭系ごみについては、対前年度約4g減の714gとなり、ごみの減量化、資源化が図れた。
マイバッグの利用を普及・促進し、レジ袋の削減を推進します。	クリーン推進課	広報紙での掲載やホームページの活用、イベントでの啓発、マイバッグ普及促進協力店での店頭啓発を延べ25回実施し、マイバッグ使用を推進した。	マイバッグ利用の意識効果があったことなどにより、一人一日当たりのごみ排出量において、家庭系ごみで対前年度4g減の714gとなり、ごみの減量化、資源化が図れた。
ごみ問題に関して興味・関心を持てる機会をつくり、正しい理解を深めるとともに、市民などの自発的なごみ減量活動を支援します。	クリーン推進課	町内会等を対象とした「ごみ減量化等説明会」を25回開催するとともに環境フェスタや産業まつり等のイベントに於いて「ごみの分別が大事店」を出店し、ごみ問題への関心を誘引した。	「ごみ減量化等説明会」の開催やイベントにおける啓発効果などにより、一人一日当たりのごみ排出量において、家庭系ごみで対前年度4g減の714gとなり、ごみの減量化、資源化が図れた。
ごみの分別排出・適正排出の徹底を促進するとともに、ごみの発生抑制・減量意識を高めます。	クリーン推進課	広報紙、ホームページ、リーフレットの配布や町内会等を対象とした「ごみ減量化等説明会」を25回開催するとともに環境フェスタや産業まつり等のイベントに於いて「ごみの分別が大事店」を出店し、ごみの適正排出・減量意識の啓発を行った。	「ごみ減量化等説明会」の開催やイベントにおける啓発効果などにより、一人一日当たりのごみ排出量において、家庭系ごみで対前年度4g減の714gとなり、ごみの減量化、資源化が図れた。
「環境にやさしい行動」を市民にエコモニターとして実践してもらい、広く紹介し、意識啓発を図ります。	環境保全課	イベント等において環境行動指針の普及促進。 環境家計簿74枚提出	環境推進市民会議等の協力を得て、イベント等において環境行動指針・環境家計簿の普及促進が図れた。
「生ごみ処理容器等購入費補助金制度」のPR強化による生ごみ処理容器・生ごみ処理機の普及促進などにより、生ごみの減量を推進します。	クリーン推進課	広報紙、ホームページ、町内会等を対象とした「ごみ減量化等説明会」を25回開催するとともに環境フェスタや産業まつり等のイベントに於いての機器の展示や貸出事業により、処理機の普及啓発を行った。	生ごみ処理機等補助金件数が49件、生ごみ処理機貸出件数が13件などにより、一人一日当たりのごみ排出量において、家庭系ごみで対前年度4g減の714gとなり、ごみの減量化、資源化が図れた。
ごみ有料化について、事業系ごみのみならず家庭系ごみについても段階的な取組みを検討していきます。	クリーン推進課	粗大ごみ有料化について、内部整理を行い、印西地区環境整備事業組合に申入れを行った。	粗大ごみ有料化について、印西地区環境整備事業組合に申入れを行ったことにより、市と組合の共通認識を持つことができました。
農業用廃プラスチックのリサイクルを進めます。	農政課	塩化ビニール 14.90t ポチエチレン 13.52t の適正処理を図った。	印西市農業用廃プラスチック対策協議会へ農業用廃プラスチックの回収経費への補助金を交付した。

再利用(リユース)・資源化(リサイクル)の推進

個別目標の達成に向けた取り組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
資源物の拠点回収品目及び拠点回収場所を追加するなど、資源物収集体制の整備を進めます。	クリーン推進課	家庭用剪定枝粉碎機の貸出事業の実施や廃食用油の拠点回収場所の増設を行い、ごみの資源化を推進した。	剪定枝粉碎機の貸出事業により約 2.5t の剪定枝の資源化や 5.1t の廃食用油の回収により資源化意識の啓発が図れた。
自発的なリサイクルシステムの促進のため、「有価物集団回収事業」を広く周知し、資源回収の基盤となるよう一層の拡充に努めます。	クリーン推進課	広報紙、ホームページ、町内会等を対象とした「ごみ減量化等説明会」の開催に際し、事業の普及啓発を行った。	事業の普及啓発を実施したことにより、登録団体数が前年度と比較して2団体増の 114 団体となり、約 2,008tが資源化された。
「グリーン購入推進指針」に基づき、市役所や市出先機関などにおいて、リサイクル品の積極的な購入・使用などを率先して実行します。	環境保全課	取り組み実施状況において、常に実行、ほぼ実行、概ね実行の割合が「エコマーク商品を優先的に購入している」は 51.9%、「エネルギー効率の良いOA機器の導入を心がけている」は 73.4%となった。	今後も引き続き、グリーン購入推進指針の徹底に努めていく。
積極的な再使用を進めるため、不用品情報交換コーナーの利用促進を図ります。	クリーン推進課	本庁舎での情報掲示や広報紙及びホームページへの掲載により不用品再利用の推進を図った。	広報紙等による事業の啓発、情報提供により 24 件の不用品再利用が図れた。
市の事業や建設工事の際には、再生資材等の使用やリサイクルを推進します。	関係各課	法令等に基づき、再生資材の利用促進を推進した。	法令等に基づき、再生資材の利用促進を推進できた。

個別目標 不法投棄やポイ捨てをなくす
不法投棄・ポイ捨ての防止

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
不法投棄監視パトロール、通報制度の整備など監視体制の強化を図ります。	クリーン推進課	職員パトロール回数 6回 委託パトロール回数 160回 不法投棄監視委員 月4回 固定式監視カメラ運用台数 15台 (うち4台は新規設置) 移動式監視カメラ運用台数 17台 広報掲載回数 4回 ホームページ掲載 随時 協働撤去 1現場 (市企画提案型協働事業) 警察通報 4件 印旛地域振興事務所通報 2件 行為者の特定 0件	各パトロール業務については、巡回と併せ、不法投棄多発地区におけるピンポイントの定点監視を効果的に実施した。地元町内会等と十分に検討し設置した固定式監視カメラのほか移動式監視カメラを設置したこと及び啓発業務を継続実施したことで、効果的な不法投棄の防止を図ることができた。 既存現場の実態を把握したことから、当該現場の不法投棄物を計画的に撤去することができた。 市企画提案型協働事業により実施した大規模な不法投棄現場の不法投棄物協働撤去については、広く市民の参加をいただき、不法投棄に関する意識向上に寄与した。”
不法投棄・ポイ捨てに関する意識啓発を図ります。	クリーン推進課	職員による重点区域での啓発や指導員によるパトロールの実施及び禁止行為の指導等を行った。また、広報等で不法投棄防止の情報提供を行った。	広報等を利用し、条例を周知するとともに、指導員によるパトロール等の実施及び啓発活動により市民に理解された。
土地の所有者への情報提供・意識啓発により、不法投棄の防止を図ります。	クリーン推進課	広報、ホームページ等にて不法投棄防止の情報提供を行った。 また、不法投棄防止のため、看板の貸与を実施した。 広報掲載回数 4回 看板貸与件数 20件	広報、ホームページ等を利用し、不法投棄に関する情報提供及び土地所有者への不法投棄防止対策を呼び掛け、意識啓発を図ることができた。

環境美化活動の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
「ゴミゼロ運動」、「クリーン印西推進運動」を継続実施し、環境美化に対する意識啓発を図ります。 市民や各種団体などの環境美化活動を支援します。	クリーン推進課	春のゴミゼロ運動 参加 13,508名、回収量 27,280 kg 秋のゴミゼロ運動 参加 11,593名、回収量 17,810 kg クリーン印西推進運動 参加延べ 77,160名、回収量 20,740 kg	春及び秋のゴミゼロ運動並びにクリーン印西推進運動を通じて、延べ 102,261名の参加をいただき、環境美化意識の向上を図ることができた。

基本目標 3 みんなで環境を育てる“しくみづくり”

個別目標 環境情報のネットワークをつくる

環境情報の収集・提供

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
「印西市環境マップ」を作成し、環境保全意識の啓発を図ります。	環境保全課	小学生を対象とした「いきものしらべ子どもレポーター」を実施した。	モニタリング調査に代わるものを市民(小学生)参加のもと実施できたことは評価できる。
ホームページや広報などで環境情報を提供します。	環境保全課	広報に情報を掲載するとともにホームページに情報を掲載した。	適切な情報提供ができた。
図書館では期間限定で環境に関する資料の紹介を行います。	図書館	印旛図書館にて、水をテーマに資料の展示を行った。	水について書かれた資料を通じて、環境について図書館の来館者に認識してもらった。
学校図書館では環境コーナーの書籍を充実し、活用を進めます。	指導課(教育センター)	・市内全中学校では、学校図書館蔵書を日本十進分類法に従って配置し、生徒が自分でも環境関係の書籍を探しやすいようにした。 ・小学校でも環境コーナーの設置を推進するとともに、学習の時期に合わせて市立図書館の団体貸し出しを利用して、書籍の充実を図った。	・各学校の図書館における環境教育がより盛んになり、環境にかかわる学習でも、本の貸出が多くあった。 ・小学校での環境コーナーに環境にかかわる書籍の展示も、多く見られた。
学校教育のための環境に関する情報や教材を提供します。	環境保全課	環境白書など環境啓発物資を小・中学校に配布。 中央公民館事業「市民アカデミー」において環境学習の実施。	必要に応じた環境啓発、市民アカデミーでの啓発ができた。
「環境フェスタ」等の環境イベントへの参加・協力を呼びかけます。	環境保全課	環境フェスタ、環境関連施設の見学会を継続して実施した。 市民団体が主催するイベントの周知及び協力を実施した。	環境フェスタ、環境関連施設の見学会を継続して実施できた。 市民団体が主催するイベントの周知及び協力を実施できた。

環境情報の共有化促進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時 進捗(実施)状況	平成24年度 事業の評価
環境家計簿の活用や水質等の簡易測定など、環境モニター制度を充実させ、市民・事業者との情報共有に努めます。	環境保全課	環境推進市民会議委員により環境家計簿の普及啓発を実施した。 簡易測定による水質調査を市民と協働で実施した。	各種データの公表により、情報共有が図られた。
「印西市環境白書」を作成し、市民・事業者等へ公開します。	環境保全課	環境白書の作成、公表。	環境白書を作成し、広く公表することにより市民への環境の現状を報告することができた。

個別目標 環境について学び、理解する
環境イベントなどの充実

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
環境関連施設の見学会や市民参加の環境調査など、環境に関するイベント等を企画・開催し、普及啓発を図ります。	環境保全課	環境フェスタ、環境関連施設の見学会を継続して実施した。 市民団体が主催する手賀沼流域フォーラムイベントの周知及び協力を実施した。	各種イベントを企画主催し、環境保全の啓発が図れた。
環境に関する生涯学習を推進します。	生涯学習課	【中央公民館】 事業の中で「環境問題を学ぶ」、「印西の里山巡り」、「共生の台所術を学ぶ(エコ調理実習)」をテーマに講座を実施。	講座を通して環境問題について、日頃の生活等で実践できる改善策等について学び、身近な問題としての認識を持つことができた。
		【中央駅前地域交流館】 主催事業「はつらつクラブ」の中で、「印旛地区の自然散策」を実施し印旛地区の自然について学ぶ。 参加者 19名	印旛地区の自然の大切さを感じるとともに、自然を守ることを考えるきっかけづくりとなった。
		【小林公民館】 主催事業において、東京成徳大学教授を講師として招き「中国における砂漠化とその対策の現状」をテーマに公開講座を行った。また、共催事業において、小学生と「里山探検」を行った。	講座では、砂漠化、黄砂等環境問題を考える機会を提供できた。また、里山探検では、自然に触れ合うことで、自然の大切さを実感することができた。
		【そうふけ公民館】 小学生 4～6 年生対象事業のウォークラリーと水族館見学により、自然環境についての啓発に努めた。	自然の大切さを実感してもらうことができた。
		【本埜公民館】 小学校 4 年から 6 年生を対象に里山散策を 1 回、工作を 2 回、合計 3 回の事業を実施した。延べ 23 名の参加があった。	里山散策時に講師の話を良く聞いており、里山に関する関心が深まった。
		【歴史民俗資料館】 展示を通して、印旛沼の植生、木下貝層について等を考えることができた。	展示を見学し、それらがどうかかわりあってきたのか、理解できる展示を目指す。
市民・事業者などが開催する環境に関する活動や観察会を支援します。	環境保全課	市民団体等が開催するイベントの周知等に協力した。	適切に協力できた。

学習教材の充実、指導者の育成

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
環境学習パンフレット、教材を収集・整理し、提供します。	環境保全課	環境白書などを関係各機関に提供した。	適切に提供できた。
市職員の環境研修を実施し、環境に関する理解を深めます。	環境保全課	各課等に環境推進主任の設置し、庁内エコプランについての取り組みの推進を依頼した。	適切に実施した。
学校などの要請に応じて、適した指導者を派遣できるように、学校支援ボランティアを整理します。	指導課(教育センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアリストに 588 名の登録があり、うち環境整備支援への登録者は 50 名、授業支援への登録者は 38 名である。環境整備支援や授業支援では、未登録者の方の協力も得て、充実した活動を行うことができた。 ・環境整備支援は学校園や花壇の整備作業、植木の剪定が主な活動であった。 ・環境学習に関する授業支援では、里山の自然観察や米作りの学習で、外部講師として活用した学校があった。 	・各学校において植栽の剪定等環境整備が順調に進み、児童生徒の教育環境整備に役立った。
環境教育に携わる指導者を育成するしくみづくりを検討します。	環境保全課	県主催の環境講座を紹介し、市民参加を促した。	適切に実施した。

学校における環境教育・環境学習の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
体験学習を取り入れた環境教育・環境学習を推進します。	環境保全課	自然探検隊を 4 回実施。参加者延べ 57 人。	自然探検隊を通して、市民の環境保全に対する意識の高揚が図れた。
小・中学校での環境に関する学習内容の充実を図ります。	指導課(教育センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターで行われた里山観察会等について、教育センターホームページ等で実践事例を各校に示した。 ・教育センター指導主事が、森林インストラクターより植物の見分け方について指導をうけ、学校の教員に伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用により、教育センター近くの里山が市民に広く認知された。 ・自然教室などの学校行事の際に、植物について児童生徒に説明する教員が増えている。
こどもエコクラブの設立と情報提供などによる活動の支援を行います。	環境保全課	既存のエコクラブに対し、必要な情報及び資料等の提供の実施。	適切に情報を提供した。

個別目標 環境活動を進める
地域における環境活動の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
「ゴミゼロ運動」、「クリーン印西推進運動」を継続実施し、環境美化に対する意識啓発を図ります。(再掲)	クリーン推進課	春のゴミゼロ運動 参加 13,508 名、回収量 27,280 kg 秋のゴミゼロ運動 参加 11,593 名、回収量 17,810 kg クリーン印西推進運動 参加延べ 77,160 名、回収量 20,740 kg	春及び秋のゴミゼロ運動並びにクリーン印西推進運動を通じて、延べ 102,261 名の参加をいただき、環境美化意識の向上を図ることができた。
町内会や自治会など市民が各地域で行う自主的な環境活動を支援します。	市民活動推進課	町内会自治会連合会に行政協力補助金を交付し、活動の活性化に寄与した。	町内会自治会連合会に行政協力補助金を交付し、活動の活性化に寄与した。
「印西市環境行動指針」・「環境家計簿」の普及啓発を図ります。	環境保全課	環境推進市民会議委員により環境家計簿の普及啓発を実施。	市民会議の協力を得て、普及啓発を実施できた。
「庁内エコプラン」に基づいて、市の事務・事業における環境配慮を進めます。	環境保全課	各課等に環境推進主任の設置し、庁内エコプランについての取り組みの推進を依頼。	各課・各施設に環境推進主任を設置し、省エネ、節電に取り組むことができた。
環境保全を図る活動等を行うNPOなどの市民活動団体や事業者に対する支援を行います。	市民活動推進課	ファンドより資金を拠出し、市民活動を支援する。	ファンドより環境関係団体 5 団体に助成を行った。

パートナーシップの構築

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成24年度終了時進捗(実施)状況	平成24年度事業の評価
環境活動に関する情報提供・共有に努め、環境活動の組織づくり、人づくりを進めます。	環境保全課	環境推進市民会議・環境推進事業者会議を継続して開催するとともに、合同で会議を開催し、環境基本計画の進捗状況について意見を抽出するとともに意見交換を行った。	活発な意見交換ができた。
「印西市環境推進会議」と協働して、環境にやさしい行動を推進します。	環境保全課	環境推進市民会議委員により環境家計簿の普及啓発を実施。	市民会議の協力を得て、普及啓発を実施できた。
市民や事業者などと、環境活動の実施内容の報告や意見交換を図る場を設けます。	環境保全課	環境推進市民会議・環境推進事業者会議を継続して開催するとともに、合同で会議を開催し、環境基本計画の進捗状況について意見を抽出するとともに意見交換を行った。	活発な意見交換ができた。